

# 令和8年度 入学試験要項

## 総合型選抜 ふるさと愛媛特別選抜試験

ネット出願

人間環境大学

松山看護学部  
総合環境学部

自然災害などの予期せぬことにより、今後、記載事項(日程等)をやむを得ず変更することがあります。  
出願時、受験時など、その都度本学ホームページの新着情報をご確認ください。

## 1. 大学の理念と目的

人間環境大学は、建学の精神に則り、人間環境に関する該博な知識と深い理解力を備え、すぐれた見識をもって人類と国家社会に貢献できる有為な人材を育成することを目的とする。

## 2. 入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)

### 【松山看護学部看護学科】

生命とその尊厳を守り、あらゆる人々を最適な健康状態へと導く看護サービスを追求する豊かな人間愛と倫理観に富み、地域の保健・医療・福祉の発展に寄与できる看護人材の育成をめざし、次のような学生を求めます。

1. 人々の健康に関心があり、人と関わることが好きな人
2. 他者への感謝と相手の気持ちを考え、尊重できる人
3. 自らの課題を発見し、解決に向け主体的に行動できる人
4. 自分で努力して成長していくことができる人
5. 看護職者を目指す熱意のある人

上記5つの要件を満たすために、規則正しく健康的な生活習慣を身につけ、正課外もしくは学外のボランティア活動や地域諸活動への積極的な関心と社会貢献への意欲を持つ者を求める。

### 【総合環境学部】

総合環境学部では、自然共生社会の実現とインターネット時代におけるデジタル産業社会の発展とを調和的に達成するための学問と技術を求め、これからの持続可能な社会の構築に関心を持つ人を求める。

### フィールド自然学科

人間環境大学総合環境学部の学位授与の方針に基づいて、既存の学問分野に捉われない総合環境学を修め、広範な見識によって即戦力として社会貢献ができる人材を養成する。そのために、フィールド自然学科では、広義の自然学（ナチュラルヒストリー）を踏まえた自然環境の保全やその持続可能な利用について関心があり、フィールドにおいて培った知識や技能をその実現に役立てる意欲を持つ人を求める。フィールド自然学科で教育を受けるにあたっては、生態系や環境問題を理解する力が必要となるため、生物学を始めとする高等学校の教育内容に基づく基礎知識や、学習に必要な論理的思考力・判断力・表現力・行動力・倫理性をもち、他者と協働して共に学ぶ意欲を備えた人を、多様な選抜制度により受け入れる。

1. 自然全般に対する興味とともに、自然環境の仕組みやその保全、もしくはその持続可能な利用に関心がある人
2. フィールドの現場で培った自然環境に係る知識と技能を、持続可能な社会の実現に役立てる意欲を持つ人
3. 生物学を始めとする高等学校の教育内容に基づく基礎知識や、学びに必要な論理的思考力・判断力・表現力・行動力・倫理性をもち、他者と協働して共に学ぶ意欲を備えた人

### 環境情報学科

環境情報学科は、ソフトウェア技術の活用を通して産業発展と環境保護の調和をはかることを教育研究上の目的とする。その教育課程は環境理解とソフトウェア技術を中心に展開することから、持続可能な社会や環境保護に興味関心をもつ者、もしくは、世の中に普及するソフトウェア製品やソフトウェアによって動作する電子機器、ソフトウェア開発やソフトウェア技術に関わる仕事等に興味関心をもつ者を広く入学者として受け入れたい。以下に具体的な人物像を挙げる。

1. 持続可能な社会や環境保護を重視する考え方や社会活動に興味関心がある人
2. SNSアプリやメールアプリ、ゲームアプリ、ワープロソフト等のソフトウェア製品の利用や開発に興味関心がある人
3. アプリによる電子決済サービスやオンラインショッピングサービス、動画配信サービス等の利用や開発に興味関心がある人
4. ソフトウェアによって動作する電子機器（パソコン、スマートフォン、家庭用ゲーム機、自動車、電車、航空機等）の利用や開発に興味関心がある人
5. ソフトウェア技術を活用し、持続可能な社会の実現や環境保護等の社会課題に取り組むことに興味関心がある人

### 3. ふるさと愛媛特別試験について

地域医療についても学べる松山看護学部や、愛媛県の地域特性を生かした学びのフィールドを持つ総合環境学部で学びたいという強い意欲がある進学志望者に対し、愛媛県で学ぶ機会を提供することを目的とした入試です。卒業後は、各学部学科での学びを活かし、愛媛県を始めとした各地で活躍する人材を輩出することで、地域に貢献します。選抜においては、教科科目の学力試験では測れない学びへの意欲を中心にアドミッションポリシーに基づき総合的に評価をします。

## 1

### 募集学部・募集学科・募集人員

学部	学科	募集人員	
松山看護学部	看護学科	ふるさと愛媛特別選抜試験Ⅰ期・Ⅱ期	20名
		AO入試Ⅰ期～Ⅲ期	
		沖縄県地域特別AO入試	
総合環境学部	フィールド自然学科	ふるさと愛媛特別選抜試験Ⅰ期・Ⅱ期	17名
		AO入試Ⅰ期～Ⅳ期	
		沖縄県地域特別AO入試	
	環境情報学科	ふるさと愛媛特別選抜試験Ⅰ期・Ⅱ期	14名
		AO入試Ⅰ期～Ⅳ期	
		沖縄県地域特別AO入試	

## 2

### 出願資格

愛媛県で学ぶ強い意欲がある者

【専願型】 合格した場合は、必ず本学の合格した学部・学科へ入学する者

本学で学ぶことに強い意欲をもち、本学の令和8年度専願型入試に初めて出願する専願の者かつ、次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※上記(1)(2)において、出願時に高等学校等の評定平均値の指定はありません。

※上記(3)において、本学の個別の入学資格審査により出願を希望する場合は、各選抜日程の出願開始日までに個別資格審査のための書類提出が必要となります。

【専願・併願の別】 専願型

※本学の専願型入試への出願は1回のみです。2回目以降は併願型の入試に出願することが可能です。専願型入試で合格した場合は、合格した学部学科に必ず入学する必要があります。

#### ふるさと愛媛特別選抜試験の合否判定について

ふるさと愛媛特別選抜試験Ⅰ期の受験者は、受験する学部・学科のAO入試Ⅰ期〔専願型〕の合否判定も同時に実施します。

ふるさと愛媛特別選抜試験Ⅱ期の受験者は、受験する学部・学科のAO入試Ⅱ期〔専願型〕の合否判定も同時に実施します。

## 3

## 入試日程・選抜方法等

	I 期〔専願型〕※1	II 期〔専願型〕※1												
出願期間	令和7年9月1日(月)～9月5日(金) 消印有効	令和7年9月16日(火)～9月24日(水) 消印有効												
試験日	令和7年9月13日(土)	令和7年10月4日(土)												
試験地	【松山看護学部】 本学（松山）・本学（岡崎） 【総合環境学部】 本学（松山道後）・本学（岡崎）													
選抜方法 および 時 間	①～③の総合判定で選抜 <table border="1"> <tr> <td>入室完了</td><td>9:40</td><td></td></tr> <tr> <td>① テーマ作文</td><td>10:00～11:00</td><td>松山看護学部 ・指定のテーマについて、意見を800字程度で記述(60分) 総合環境学部 ・指定のテーマについて、意見や考えをまとめた作文を評価(60分、800字程度)</td></tr> <tr> <td>② 面接</td><td>11:30～</td><td>・入学志望理由書に基づき、本学を志望した理由、本学での学習意欲等を中心に質問(面接員は2名、面接時間は10分程度(個人面接)、対面もしくはオンラインで実施)</td></tr> <tr> <td>③ 書類審査 (調査書等)</td><td></td><td>・出願時に提出する書類で学力以外の活動歴(部活動、ボランティア、皆勤等)も評価</td></tr> </table>		入室完了	9:40		① テーマ作文	10:00～11:00	松山看護学部 ・指定のテーマについて、意見を800字程度で記述(60分) 総合環境学部 ・指定のテーマについて、意見や考えをまとめた作文を評価(60分、800字程度)	② 面接	11:30～	・入学志望理由書に基づき、本学を志望した理由、本学での学習意欲等を中心に質問(面接員は2名、面接時間は10分程度(個人面接)、対面もしくはオンラインで実施)	③ 書類審査 (調査書等)		・出願時に提出する書類で学力以外の活動歴(部活動、ボランティア、皆勤等)も評価
入室完了	9:40													
① テーマ作文	10:00～11:00	松山看護学部 ・指定のテーマについて、意見を800字程度で記述(60分) 総合環境学部 ・指定のテーマについて、意見や考えをまとめた作文を評価(60分、800字程度)												
② 面接	11:30～	・入学志望理由書に基づき、本学を志望した理由、本学での学習意欲等を中心に質問(面接員は2名、面接時間は10分程度(個人面接)、対面もしくはオンラインで実施)												
③ 書類審査 (調査書等)		・出願時に提出する書類で学力以外の活動歴(部活動、ボランティア、皆勤等)も評価												
合格発表日	合格候補者通知日：令和7年9月18日(木)※2 令和7年11月1日(土)	令和7年11月1日(土)												
入学手続締切日	一括手続 令和7年11月10日(月)													

※1 本学の専願型入試への出願は1回のみです。2回目以降は併願型の入試に出願することが可能です。専願型入試で合格した場合は、合格した学部学科に必ず入学する必要があります。

※2 合格に相当する受験者には、「合格候補者」として通知日に発送します(郵送のみ)。合格者は11月1日(土)の合格発表後、入学手続ができます。

## 4

## 出願手続

出願方法はインターネットのみです。別冊の「ネット出願ガイド」を参照してください。

## (1) 出願登録

本学ホームページの「入試情報」ページから出願サイトにアクセスし、インターネット上で必要事項を登録してください。

出願時に登録した内容の変更・取消は一切認めませんので、よく確認してください。

なお、出願登録時に顔写真(正面・上半身肩口まで・脱帽・背景無地のもので、出願日前3ヶ月以内に撮影したもの)のアップロードが必要です。「ネット出願ガイド」をよく確認し、あらかじめ写真データを用意しておいてください。

## (2) 入学検定料 38,000 円

別冊の「ネット出願ガイド」をよく確認し、払込期限内にお支払いください。

入学検定料の他に事務手数料(1,500円)が必要となります。

2回目以降のすべての出願において入学検定料および事務手数料が無料です。出願サイトの「マイページ」にアクセスし、STEP4「2出願目以降の出願登録」の **新たな出願登録はこちら** より、必要事項を入力してください。

## 【入学検定料の返還について】

払込後の入学検定料は、次の①、②の場合を除き、いかなる場合も返還しません。

①入学検定料を払い込んだが出願しなかった場合または出願が受理されなかった場合

②入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

入学検定料の返還については、本学ホームページに掲載しています。入学検定料の返還請求をする者は、入試・広報部(TEL 0564-48-4321)もしくは代表番号(TEL 0564-48-7811)まで連絡し、本学ホームページからダウンロードした必要書類を令和8年3月31日(火)必着で送付してください。

【お問い合わせ受付時間】 月～金 9:00～17:00(祝日除く)

### (3) 出願書類

以下に従って①～③、④または⑤の書類を準備してください。

出願書類	取得方法・注意事項等
①ネット出願志願票	ネット出願登録と入学検定料支払い後、出願サイトの「マイページ」からダウンロードし、A4サイズ片面でカラー印刷してください。
②宛名ラベル	ネット出願登録と入学検定料支払い後、出願サイトの「マイページ」からダウンロードし、A4サイズ片面でカラー印刷してください。 市販の角2封筒に貼付してください。
③入学志望理由書 (A4) 1枚	本学ホームページ「入試情報」の「出願書類ダウンロード」からダウンロードし、A4サイズ片面で白黒印刷してください。志願者本人が、規定の枠内に黒のボールペンで記入してください。
④出身学校調査書	文部科学省指定の様式で、出身学校長が出願日前3ヶ月以内に作成・捺印・厳封したものを提出してください。 高等学校の通信制課程は出席日数に加えて、サポート校への出席等がある場合には出席した日数も記載してください。 <u>高等学校等既卒者が出願する際の注意事項</u> 注1) 調査書等に記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、改名を証明できる書類(戸籍抄本等)を提出してください。 注2) 書類保存期間経過により調査書が発行できない場合は、「単位修得証明書」及び「卒業証明書」、「履歴書」を提出してください。履歴書は、本学ホームページ「入試情報」の「出願書類ダウンロード」よりダウンロードし、A4サイズ片面で白黒印刷してください。志願者本人が、規定の枠内に黒のボールペンで記入してください。また、調査書が発行できない旨の理由書を高等学校等に発行してもらい、併せて提出してください(任意様式)。
⑤出願資格を証明する書類 (高等学校卒業程度認定試験合格(見込みを含む)または大学入学資格検定合格による出願者が提出する書類)	高等学校卒業程度認定試験合格者または大学入学資格検定合格者は「合格証明書」と「合格成績証明書」、令和8年3月31日までに合格見込みの者は、「合格見込成績証明書」を提出してください。 なお、高等学校等で単位修得した科目がある場合は、その高等学校等の「調査書」もしくは「成績証明書」を提出してください。

※提出された書類は理由を問わず一切返還しません。

### (4) 出願書類の送付

②宛名ラベルを貼付した角2封筒に出願書類①、③、④または⑤を入れ、必ず出願期間内に簡易書留速達で郵送してください。必要書類を不備なく全て郵送することで出願が完了します。書類をよく確認し郵送してください。

※提出された調査書とネット出願志願票の内容に相違がある場合は本学で修正する場合があります。

また、個人情報に入力間違いがあり、やむを得ず志願者本人に確認が必要な場合は、登録のある電話番号に連絡します。入試・広報部(TEL 0564-48-4321もしくは0564-48-2232)より着信がある場合は速やかに連絡してください。

### (5) 受験票について

8ページの**9** 受験に関する注意についての「受験票」を必ず確認してください。

### (6) 受験上の配慮

受験時において、障がい・疾病・怪我等による配慮を希望される場合は、出願前に入試・広報部(TEL 0564-48-4321)へご相談いただき、大学の配慮内容について確認していただく必要があります。出願前のご相談がなく受験された場合、ご希望される支援等を準備できない場合がありますのでご注意ください。なお、出願前に配慮についてご相談いただくことで入試結果の判定が不利となることはありません。  
入学後の配慮についてのご相談は、学生支援部(TEL 0564-66-6120)までお問い合わせください。

## 5

## 入学手続

別冊の「ネット出願ガイド」7～8ページをよく確認して入学手続を行い、下記の手続期限までに完了してください。所定の期日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとみなします。

学部・学科	入学手続締切日	学生納付金及び入学手続書類
松山看護学部	一括手続 令和7年11月10日（月）	・ 学生納付金650,000円を納入 （入学金、前期授業料、前期教育充実費、施設設備費の合計） ・ 入学手続書類を提出
総合環境学部	一括手続 令和7年11月10日（月）	・ 学生納付金465,000円を納入 （入学金、前期授業料、前期教育充実費の合計） ・ 入学手続書類を提出

### 【学生納付金の返還について】

一旦納入された学生納付金は返還しません。ただし、令和8年度入試の合格者で、入学金・前期授業料・前期教育充実費、前期施設設備費（松山看護学部のみ）を納入後、令和8年3月31日（火）17:00までに入学辞退を申し出た者に限り、入学金（入学金が免除されている場合には入学金相当額）を除いた学生納付金を返還します（振込手数料本人負担）。

また、出願資格または入学資格を卒業や取得等の見込みで受験し入学時までに要件を満たさないことが判明した場合も、入学金（入学金が免除されている場合には入学金相当額）を除いた学生納付金を返還します（振込手数料本人負担）。

## 6

## 入学前教育

### 【松山看護学部】

ふるさと愛媛特別選抜試験Ⅰ期・Ⅱ期の入学手続完了者全員を対象に入学前教育を実施します。入学までの学習を支援するためのプログラムを使用しますので、必ず受講してください。なお、このプログラムは入学後もしメディアル教育（補習教育）として使用します。受講料は3,000円程度です。スケジュール等の詳細につきましては、合格者に通知します。

### 【総合環境学部】

ふるさと愛媛特別選抜試験Ⅰ期・Ⅱ期の入学手続完了者全員を対象に、入学までの学習をサポートするための入学前教育を実施しますので必ず受講してください。受講料は30,000円程度を予定しています。スケジュール等の詳細につきましては、合格者に通知します。



## 初年度の学生納付金等

### 松山看護学部

合格者は、入学金(250,000円)と最長4年間にわたり授業料等から年間200,000円を減免します。

※各年次に減免措置を継続するための審査があります。

	入学手続時	1年次9月
入 学 金	250,000円 ⇒ 免除	—
授 業 料	前期分 475,000円	後期分 475,000円
教育充実費	前期分 147,500円	後期分 147,500円
施設設備費	前期分 127,500円	後期分 127,500円
減 免 額	-100,000円	-100,000円
合 計	650,000円	650,000円

◆上記の他に、下記諸費用が必要となります(令和8年度 松山看護学部入学生予定)。

・ 学生後援会入会金	6,000円
・ 学生後援会会費(年額)	12,000円
・ 日本看護学校協議会共済会総合保障制度「Will2」年間掛金	4,500円
・ 健康診断費用自己負担分	2,292円
・ 感染症抗体検査	23,705円
・ 学生証作成費	1,550円
・ 衛生用品(実習で使用)	1,100円
・ LMS登録料※	2,000円
・ マイクロソフトライセンス利用料	2,000円
・ 生成AI登録料	23,760円
・ 備蓄用品	2,000円
合 計	80,907円

※LMSは学習管理システムの略です。本学では教育効果を高めるために全学的に導入しています。

- ・ 令和8年度の諸費用については、これまでの実績により算出しています。諸般の事情により変更になる場合があります。
- ・ 上記以外にユニホーム・シューズ・カーディガン費用(約40,000円)、教科書代等及び実習費の必要な科目の実習費実費が別途必要となります。
- ・ 本学では、講義におけるレポート作成、卒業研究に係る論文作成、大学からの連絡、遠隔授業の受講、履修登録など、様々な場面でPCを使用する機会があり、入学までに必ずご準備いただく必要があります。大学が推奨するノートPCの購入をご希望する方は後日合格者にご案内するPC案内書をぜひご利用ください。
- ※既にノートPCをお持ちの場合、入学時に新たに購入していただく必要はありません(ただし、入学する学部・学科が指定するスペック等を満たしている必要があります)。

### 総合環境学部

合格者は、入学金(200,000円)と最長4年間にわたり授業料等から年間200,000円を減免します。

※各年次に減免措置を継続するための審査があります。

	入学手続時	1年次9月
入 学 金	200,000円 ⇒ 免除	—
授 業 料	前期分 350,000円	後期分 350,000円
教育充実費	前期分 215,000円	後期分 215,000円
減 免 額	-100,000円	-100,000円
合 計	465,000円	465,000円

◆上記の他に、下記諸費用が必要となります(令和8年度 総合環境学部入学生予定)。

・ 学生後援会入会金	6,000円
・ 学生後援会会費(年額)	12,000円
・ 学生教育研究災害傷害保険料(4年間)	3,300円
・ 学研災付帯賠償責任保険Aコース保険料(4年間)	1,360円
・ 健康診断費用自己負担分	2,292円
・ 学生証作成費	1,550円
・ 新入生歓迎合宿費	15,000円
・ LMS登録料※	2,000円
・ マイクロソフトライセンス利用料	2,000円
・ 生成AI登録料	23,760円
・ 備蓄用品	2,000円
合 計	71,262円

※LMSは学習管理システムの略です。本学では教育効果を高めるために全学的に導入しています。

- ・ 令和8年度の諸費用については、他学部の実績により算出しています。諸般の事情により変更になる場合があります。
- ・ 上記以外に教科書代等及び実習費の必要な科目の実習費実費が別途必要となります。
- ・ 本学では、講義におけるレポート作成、卒業研究に係る論文作成、大学からの連絡、遠隔授業の受講、履修登録など、様々な場面でPCを使用する機会があり、入学までに必ずご準備いただく必要があります。大学が推奨するノートPCの購入をご希望する方は後日合格者にご案内するPC案内書をぜひご利用ください。
- ※既にノートPCをお持ちの場合、入学時に新たに購入していただく必要はありません(ただし、入学する学部・学科が指定するスペック等を満たしている必要があります)。

【奨学金等について】

「本学の奨学金制度」、「独立行政法人日本学生支援機構奨学金制度」、「国の教育ローン」については、本学ホームページ (<https://www.uhe.ac.jp/exam/expenses.html>) でご案内しています。

なお、本学は文部科学省が定める高等教育の修学支援の対象校です。対象者が修学支援制度を利用するための本学の手続方法は合格者に案内します。

8

試験場

<p><b>本 学</b> (松山)</p> <p>松山看護学部</p>	<p><b>人 間 環 境 大 学</b> (松山キャンパス)</p> <p>〒790-0005 愛媛県松山市花園町3-6 ・伊予鉄道「松山市駅」より徒歩3分 ※松山キャンパスには駐車場はありませんので、公共の交通機関を利用してください。また、近隣の施設への駐停車はご遠慮いただきますようお願いいたします。</p>	
<p><b>本 学</b> (松山道後)</p> <p>総合環境学部</p>	<p><b>人 間 環 境 大 学</b> (松山道後キャンパス)</p> <p>〒790-0825 愛媛県松山市道後樋又9-12 ・伊予鉄道環状線「赤十字病院前」より徒歩5分 ※松山道後キャンパスには駐車できませんので、公共の交通機関を利用してください。また、近隣の施設への駐停車はご遠慮いただきますようお願いいたします。</p>	
<p><b>本 学</b> (岡崎)</p> <p>松山看護学部 総合環境学部</p>	<p><b>人 間 環 境 大 学</b> (岡崎キャンパス)</p> <p>〒444-3505 愛知県岡崎市本宿町上三本松6-2 ・名鉄名古屋本線、急行停車駅「本宿(もとじゅく)駅」下車 徒歩8分またはスクールバス3分 (試験日当日は、本宿駅よりスクールバスを運行) ※公共の交通機関を利用してください。 詳細は本学ホームページを確認してください。</p>	



## 9

## 受験に関する注意

受験票	受験票は本学で出願を受理した後に、出願サイトの「マイページ」に公表します。志願者が出願書類を郵送してから本学で出願を受理するまで時間を要することがありますので、「マイページ」を定期的に確認してください。受験票はダウンロードし、出願時に入力した内容であるか確認後、拡大縮小せずA4サイズ片面で印刷し、点線に沿って切り取り、試験日に持参してください。受験票が試験日2日前までにダウンロードできない場合には、入試・広報部までお問い合わせください。受験票は、合格発表、入学手続まで大切に保管してください。
交通手段	試験場へは、公共の交通機関を利用してください。
開場時刻	試験の始まる60分前を予定しています。
試験室への入室	受付で受験票を提示して入室してください。受験票のない者及び受験者以外は、原則として入場できません。受験票を忘れた場合は、係員にその旨を申し出てください。受験番号により指定された席につき、受験票を机上においてください。
持ちもの等	①受験票 ②試験時間中に机の上に置けるものは、 <b>受験票、黒鉛筆・シャープペンシル（HBまたはB）、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り</b> （電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）、 <b>時計</b> （辞書や電卓・端末等の機能があるもの・秒針音のするもの・大型のものを除く）、 <b>眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー</b> （袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、 <b>目薬</b> 。これ以外の所持品を置くことはできません。 ③監督者の指示等が聞き取れないことがありますので、耳栓は使用できません。
昼食	昼食は各自用意してください。
その他	試験室では、携帯電話・スマートフォンの電源を切ってください。不明な点、忘れ物などがあれば、係員に申し出てください。その他の注意事項は本学ホームページで確認してください。
遅刻について	試験開始後15分以上遅刻した者は受験できません。ただし、天候の不順による交通機関の遅延・交通機関の事故などでやむを得ず定刻までに試験場に到着できない場合は、受験する試験場まで連絡して指示を受けてください。連絡先は、松山キャンパス事務室(TEL 089-909-7001)、松山道後キャンパス事務室(TEL 089-926-7007)、岡崎キャンパス入試・広報部(TEL 0564-48-4321)です。

## 10

## 奨学金(住宅費補助)

ふるさと愛媛特別選抜試験の合格者で、入学後一人暮らしをする方には、奨学金として年間12万円の住宅費を補助します(最長4年間。各年次に継続するための審査があります)。

詳細は、入試・広報部までお問い合わせください。

## 11

## 個人情報の取扱い

出願時に記載された氏名、住所その他の個人情報は、入学試験実施及び入学手続等これに付随する業務を行うために使用します。この各種業務での利用にあたっては、本学より業務委託を受けた業者に、委託した当該業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供することがあります。

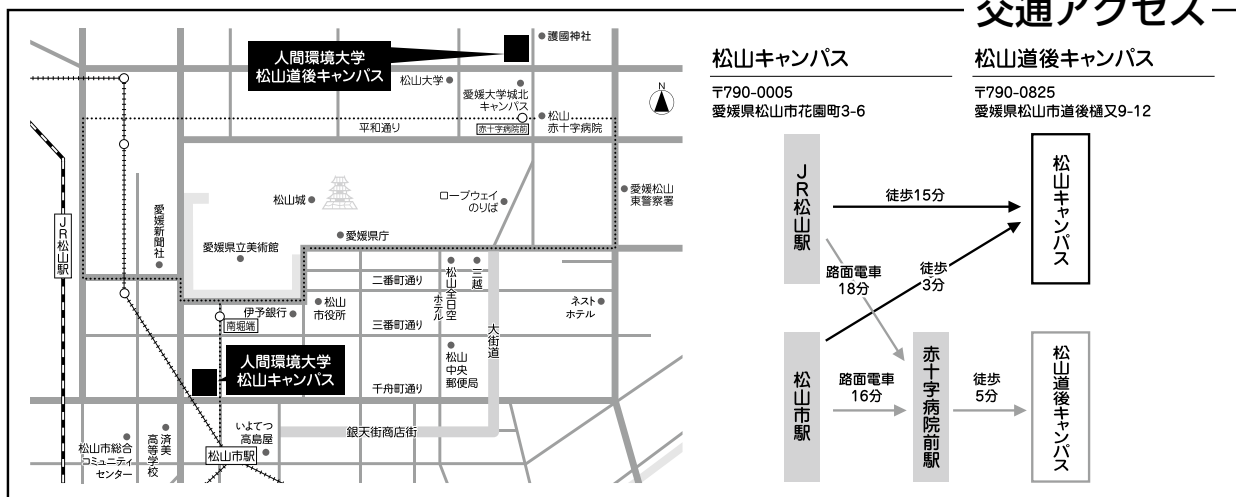
また、収集した個人情報は個人を特定できない形で、入学者選抜及び大学教育の改善のための調査・研究等の資料として利用することがあります。

上記の場合を除き、志願者本人の同意を得ることなく志願者の個人情報を他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

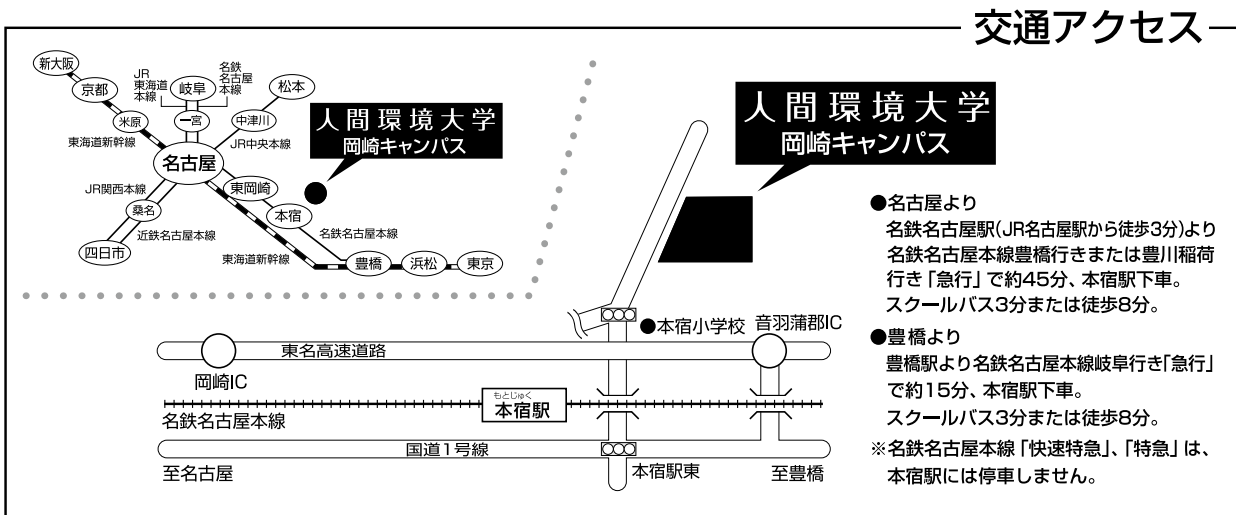
### 特別奨学生選抜試験のご案内

ふるさと愛媛特別選抜試験で合格、入学手続をされた方も、入学手続を行った学部・学科の「特別奨学生選抜試験」(試験日12月7日(日))を入学検定料免除で受験することができます。また、減免制度の併用はできません。詳細は、本学ホームページの入試情報から特別奨学生選抜試験の入試要項で確認してください。

# 人間環境大学 松山キャンパス / 松山道後キャンパス



# 人間環境大学 岡崎キャンパス



● 入試に関する問い合わせ先 ●

人間環境大学

〒444-3505

愛知県岡崎市本宿町上三本松6-2

入試・広報部

TEL 0564-48-4321

代表番号

TEL 0564-48-7811

URL <https://www.uhe.ac.jp/>

E-mail [koho@uhe.ac.jp](mailto:koho@uhe.ac.jp)